

令和2年度 第1回学校評価アンケートの集計・考察

A よくあてはまる B あてはまる C どちらともいえない D あてはまらない

① 子どもの様子	1	自分から遊びを見つけて、夢中になって遊んでいる。	A56% B44%
	2	感じたり思ったりしたことを有りのままに言葉や身体を使って伝えようとしている。	A56% B44%
	3	身近な生き物や植物などに興味を持ち大切にしている。	A59%B40%C1%
	4	友達を大切にしている。	A68% B32%
	5	友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる。	A65% B35%
	6	自分なりに試したり工夫したりして、あきらめずにがんばっている。	A42% B58%
② 幼稚園の取組	7	教育目標や目指す子ども像は適切である。	A83% B17%
	8	時期や子どもの活動に適した環境を工夫して保育をしている。	A78% B22%
	9	保護者や地域・学校や関係機関との連携を大切にして教育活動を進めている。	A73%B26%C1%
	10	子どもの日頃の様子や園の様子をわかりやすく保護者に伝えている。	A69%B30%C1%
	11	子どもの思いや保護者の思いに寄り添っている。	A69% B31%
	12	子どもが有りのままの思いを出せるよう支え、一人一人を大切にしている。	A72% B28%
③ 家庭では	13	子どもとの会話やコミュニケーションを大切にしている。	A74% B26%
	14	食事のマナーや偏食など、食生活・食育について考えている。	A66%B33%C1%
	15	家庭で読書ノートなどを活用して、読み聞かせをしたり、一緒に絵本を読んだりしている。	A38%B60%CD1%
	16	家庭では、十分な睡眠や栄養のバランスの取れた食事等、健康管理に気を配っている。	A44%B55%C1%
	17	自分のことは自分でできるように促している。	A52%B47%C1%

第一回学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございます。項目ごとに特徴的な結果を考察していきたいと思えます。

先ず項目①について、ここではお子達の普段の園での様子や帰宅後の友達との遊びの様子を見て頂いて、感じられたことに問いかけをさせていただきました。但し、今年度はコロナの関係もあり園庭開放の姿や保育参観の様子をつぶさに見て頂く機会が少なく、十分な情報提供の無いままでお答えいただいたと思えますので、例年よりもお答えいただくのが大変だったと思えます。そんな中でも、小項目4友達を大切にしているがA・Bのあてはまる以上になっていることは、大変重要なことで望ましい姿であると考えます。普段からすべてのご家庭で、ご家族がお子たちに示していただいている公共心や道徳心がしっかりと育っているのではないかと思います。

友達を大切にすることで、自分も大切にもらえる。この基本が乳幼児の段階から育つことは、今後の成長過程の中で特に大切にしていきたい「自尊感情」が育ちつつあることを示しています。ご家族の中で大切に愛情を注いでいただいていることで、友達も大切にできる安定した心の状態が作り出されているのではないかと思います。

れます。

一方で、小項目3については、様々なことに興味関心を持つ時期、虫や生き物を遊び相手として日々の生活を過ごす中で、今まさに学びの最中であると考えます。十分なお世話ができずに、残念な結果に終わってしまうこともあるかもしれませんが、これも大切な学びとして捉えることができるのではないのでしょうか。小項目6については、幼稚園生活2年の中で是非身に付けてほしい項目です。この部分は意外と周りで関わる大人の姿を見て影響を受けることがあるかもしれません。私たち自身が子どもたちに関わる際に、こまめな声掛けや励ましを多くして、否定の言葉を少なくすることで、ずいぶん改善が見られるようになるのではないのでしょうか。小項目5は今後限りなく100%に近づけていきたい重要な項目であると認識しています。そのためには、保育の環境整備が大切であると考えます。園の努力が必要であると考えます。

**項目②** この項目は現在の上賀茂幼稚園の園の経営方針や取り組みに関して問い合わせをさせていただいております。その中で、小項目7について大変高い評価を頂戴したことに感謝申し上げます。この方向が保護者の皆様方のお考えとズレが生じますと園児たち一人一人に影響が出ます。幼稚園の目指すべき方向や歩みを皆様方と共有し、園の方針にご賛同を得ていることで、一步一步着実に目指す子ども像の具現化に向けて進んでいけると考えます。

昨年度の評価にもご指摘があったのですが、小項目の10に関しては、まだまだ反省すべき点が多々あると思います。特に今年度はコロナの関係で担任がお子達の様子を詳しく口頭で伝えることが困難な状況にありました。

掲示板やHP、メール配信等で可能な限りお伝えしたとは思いますが、今後も一層の努力を重ねてまいりたいと思います。小項目の9に関しましては、園としては最大限の連携を行っております。地域・関係機関との連携を大切にしながらこれまで同様に歩んでいきたいと考えます。小項目11に関しましては是非直接ご意見を伺いたいと思います。日々の園運営の中で園が把握していないこともたくさんあると思います。どうぞご遠慮なくお申し出ください。真摯に受け止め改善策を講じていきたいと思っております。常に保護者の皆様の生のお声を聞かせていただき、そのご意見を園運営に生かして行きたいと考えます。「全ては子どもたちのために」を最も重要と考えております。是非お声をお聞かせください。小項目8に関しましては、今年度は新型コロナ感染防止対策の徹底により、大変ご不便をおかけしました。今後も継続したウイズコロナの取り組みの在り方を模索しながら、可能な限りより安全な園行事の運営や日常の保育に努める所存です。その為、保護者の皆様にご理解ご協力をお願いすることが多々あると思っておりますが、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

**項目③** この項目はご家庭でのお子達の様子や日頃感じておられることを、問い合わせをさせていただきました。

ここでは、出来ている。出来ていないではなく、意識をされているかどうかという事が大切であると考えています。ですので、小項目13の数値が高いことに関して大変ありがたいと感じています。園児一人一人を詳しく見ていますと、ご家庭で十分な愛情と時間をかけて大切に育てていただいていることを、全ての園児から感じられます。

一見当たり前のことのように思われがちですが、実は大変重要なことで、皆様方のご家庭が子ども中心を意識していただいていることが手に取るようにわかります。あつてはならないことですが、本園ではそのようなことはありませんが、昨今世間でよく言われている児童虐待は負の連鎖を起こします。虐待を受けた子どもがやがて親となった時、虐待をする親になるとも言われています。そのような負の連鎖が社会問題となった今、上賀茂幼稚園の全ての保護者の皆様、「全ては子どもたちのために」という思いで子育てに専念していただいている姿は、まさしく親としてのお手本であると思っております。この素晴らしい家庭環境で育った子どもたちは、この先着実に素晴らしい成長と自己実現を遂げた姿を見せてくれるに間違いありません。負の連鎖ではなく正の連続、繰り返しが続くことと確信しております。そこでお願ひですが、小項目の15に関しましては、可能な限りたとえ1日5分でもお時間を取っていただくと、子どもは変わります。就学前のこのタイミングで、是非ともお願ひしたいと思っております。日頃の子育てのお悩みやご苦勞は多々あると思っておりますが、子育て真っ盛りの時が、実は人生で一番楽しい時期ではないのでしょうか。家族団らんの時を大切にいただき、どうぞお子達の成長を楽しんでいただきたいと思っております。そして、皆様の日頃から心掛けていただいている、深い愛情をお子達にかけていただく事で、お子達はすくすくと成長していくと考えます。「できていないこと探し。」をする前に「良いこと見つけ。できたこと見付け。」を是非お願ひしたいと思っております。園児ひとりひとりが持つ可能性を最大限に見出し伸ばすために、今後も日々の精進を欠かさず、より良い幼稚園を目指して行きたいと考えます。今後とも上賀茂幼稚園の保育にご理解ご協力の程よろしくお願ひいたします。

**※運営協議会理事会のご意見としては以下のような感想をいただいております。**

どの項目においても、AとBで概ね100%に至っていることは、とても素晴らしいことだと思います。

子どもが家庭で愛情いっぱいに大事に育てられていることがその背景となっており、そこから自尊感情や自己有用感が芽生え、育まれ、存分に持てる力を発揮できるようになっているのだと思います。また、園の「と

(No3)

ことん遊びきる」, 嬉しかったことも困ったことも, まずは言葉にして「伝えきる」の取組が, 友達どうしの横の  
関係に広がりや深まりをもたらし, ぶつかりや失敗をも肥しとして, 子どもたちの成長を促していると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で, 未だかつて経験の無い, 落ち着かない日々を過ごしているわけですが,  
そんな渦中でも比較的穏やかに過ごし, それなりに取組の成果を上げていることにも, やはり上賀茂の家庭力・  
地域力が大きく関わっていると思います。

今後も, 考察にもありますように, できていないことに目を向けるのではなく, できたことやできるようにな  
ったことに目を向け, 認めてほめる声かけを地域ぐるみで拡散・継続していけばよいのではないのでしょうか。

一点, 読書の取組につきましては, 小学校へとつなげ, そこから一生モノの習慣が身につけばよいのではない  
かと思いますので, その土台作りとして各ご家庭で, 環境やスケジュール等を今一度見直して頂き, 「わが子・我  
が家の読書習慣」を一考・再考してみてくださいはいかがでしょうか。

このようなご意見を頂戴しております。

第一回学校評価アンケートに関する集計・考察につきましてはこのような結果となりました事, ここにご報告  
させていただきます。